

本会議から付託された議案9件の審査を行うため、9月11日に産業水道委員会を開催しました。

議案第59号 土地改良事業の計画の概要について

～内容～

下原下流地区における土地改良事業の計画（農山漁村活性化プロジェクト支援交付金）の概要を定めるにあたり、市議会の議決を経ようとするもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：地元からの要望によるものか。

答：地元要望によるもので、以前から工事ができておらず、部分改修を行ってきた。上流の下原地区の農地の排水が集まってくるため、改修の必要があり、今回計画したものである。

問：用排水施設の改良工事とのことだが、環境に配慮した工法を採用しないのか。

答：環境マスタープランにより、一定のエリアで動植物への配慮も考えながら施工していきたい。

議案第60号 平成23年度総社市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案第61号 平成23年度総社市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

～内容～

平成23年度決算において未処分利益剰余金が生じたことから、その利益の処分について市議会の議決を経ようとするもの。

～結果～

特に、質疑、討論もなく、いずれも全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第63号 平成24年度総社市一般会計補正予算（第3号）

～内容～

サンロード吉備路前の交通安全対策に係る経費、中原支線3127号道改良事業に係る経費、及び7月の豪雨で被災した農林業施設の災害復旧に係る経費などに伴う補正が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、本委員会の所管に属する部分は、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：サンロード吉備路前の交差点改良の設計とのことだが、どのような状況であるか。

答：当初看板を設置したが、警察へ要望を重ねたところ、交差点改良の協議を進めるには、交差点の図面が必要とのことであり、今回、設計会社に図面の作成を委託するものである。

認定第5号 平成23年度総社市農業集落排水事業費特別会計 歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

～質疑～

問：農業集落排水が市内で12地区あるとのことだが、古い施設と新しい施設とで受益者負担に差はあるのか。

答：分担金については、山手地区及び清音地区はそれぞれ一律であるが、総社地区は事業年度で金額が異なっている。

認定第6号 平成23年度総社市公共下水道事業費特別会計 歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で認定すべきであると決定。

～質疑～

問：現在の認可区域における公共下水道整備の進捗状況はどうか。

答：現在の認可区域における整備率は、総社処理区が86.5%、山手処理区が91.3%、清音処理区及び美袋処理区が100%である。

問：負担金で不納欠損があるが、工事を同意した後の5年間で、徴収できない理由は何か。また、収入未済の対策はどうか。

答：倒産、名義人の死亡、相続のトラブル等の例がある。未納金の徴収については、年に2回、8月と12月に期間を設け、電話、訪問等により努力している。

認定第7号 平成23年度総社市国民宿舎事業費特別会計 歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で認定すべきであると決定。

～質疑～

問：国民宿舎協会負担金が支払われているが、この協会の会員になるメリットは何か。

答：研修会等で支配人が集まり、現状の状況、成功例等を情報共有しながら、今後の国民宿舎運営についての方向性を研究しており、意義があるものと考えている。

問：修繕料について、市と指定管理者との支払基準はどのようになっているか。

答：指定管理者と契約を交わしており、1件20万円以上の修理については市の負担とし、それ以下の修理については指定管理者の負担としている。

認定第9号 平成23年度総社市水道事業会計決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

～質疑～

問：将来の水道事業会計の見通しはどうか。

答：更新計画の作業をある程度進めており、平成28年度には簡易水道との統合も出てくる予定である。そのあたりも含め、平成40年、50年を見据えて財政収支を検討している。

問：総社一丁目と中原で石綿管の布設替工事を実施しているが、石綿管の残りはどれくらいあるか。

答：平成23年度末で、把握できている石綿管の残延長は、約1.6キロである。

認定第10号 平成23年度総社市工業用水道事業会計決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

～質疑～

問：清音神在本線の整備に伴い、富原水源地の第一取水井を移転することから、ボーリング調査を行ったとのことだが、結果はどうであったか。

答：ボーリング調査の結果、既存の井戸と同等の水量が確保できるものであり、予定の位置に移設を考えている。

一般会計決算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、9月11日に産業水道分科会を開催しました。

認定第1号 平成23年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で認定すべきであると取りまとめることに決定。

～質疑～

問：西坂台地域汚水処理施設のうち、本市の割合はどれくらいか。また、本市の支出額の推移はどのようになっているか。

答：全体戸数664戸のうち、本市分が206戸、倉敷市分が458戸である。補助金交付要綱に従って修理費用を支出しており、平成17年度に50万4千円、平成20年度に約180万円、平成22年度に110万円、平成23年度に111万1千円を支出している。

問：動画コンテンツ等作成委託料の内容と目的は何か。

答：県の緊急雇用対策事業の一環で、失業者を雇用するものであり、本市の観光資源のPRの動画をインターネット等を通じて配信する委託料である。

問：勤労者融資貸付金の貸付上限額、利用件数、及び返済の状況はどうか。

答：貸付上限額150万円、平成23年度の貸付件数は49件であり、返済状況は順調である。

問：松くい虫で松そのものが減少している中で、松くい虫駆除、保全対策を行っている。この流れをどのように考えるか。

答：松くいが激しく、松がほとんど枯れてしまった地域もある。今後は、松くい虫対策は減少すると思われるが、枯れた危険木の抜倒駆除が増加するものと考えている。

問：カルチャーセンターで、壁の剥離による車の破損事故があったが、建物の管理、運営はどのように行われているか。

答：建物は本市の普通財産であり、商店街の組合に契約により貸している。人が集まれば、商店街の振興につながるという面から、商店街が講座を開催し、運営をしている。